

《出前教室》 米沢市立第五中学校 福祉体験学習

出前教室で、米沢市立第五中学校1年生68名の生徒さんに、福祉体験学習を実施してまいりました。

生徒の皆さんには、車いす・視覚障がい・高齢者疑似体験の3つの体験と、それぞれの補助の仕方を学んで頂きました。車いすでは、自分で操作する難しさ、少しの段差でも一人では乗り越えられないこと。視覚障がいでは、目が見えないことの怖さ、補助してくれる人への信頼。高齢者疑似体験では、年齢を重ねることでの身体への負担を感じてもらいました。

生徒の皆さん、大変興味を持って授業を受けてくださり、ありがとうございました。この体験が、皆さんの今後の人生に役立つことを願っています。



車いすで、段差を越える時は、ここを踏んで



車いすを右へ左へ。結構むずかしいです…



膝が曲がりにくい体験をしてみましょう



お話しをするときは、目線を合わせて



目隠しして、見えない怖さを体験



おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に暮らしている人は？